

ボランティアの皆様、ありがとうございました。



- ・楠神堅慈様 ・南谷自治会の皆様 ・あすなる会の皆様 ・水無月会の皆様
- ・日赤奉仕団の皆様 ・夢若会の皆様
- ・ハウオリーズマサコアケタフラダンススタジオの皆様
- ・古高松南小学校ジュニアバレー部の皆様 ・吉田ちあき様 ・トーカイ鎌田様
- ・山口晃司様、笛木良彦様、武田敏明様 ・大月様 ・脇様
- ・栄華二胡サークルの皆様

皆様との出逢いに感謝!!



5月



6月



7月

◆誕生会◆

5月 あすなる会の皆様

6月 水無月会の皆様

7月 夢若会の皆様

8月 ハウオリーズマサコアケタフラダンススタジオの皆様



8月



津軽三味線・和太鼓公演

6月2日(月)、日本のみならず世界でも活躍されている津軽三味線の山口晃司様と和太鼓の笛木良彦様による演奏会が吉祥でありました。

当日は、地域の方々もご招待し、施設ご利用者様や職員と一緒に楽しみました。

和太鼓の力強い波動と津軽三味線の哀愁をおびた音に、感動して泣いていらつしやる方もおられました。生の演奏を間近で見る経験はなかなかないので、本当に貴重な体験となりました。皆さんお馴染みの『ふるさと』を津軽三味線を伴奏と一緒に歌ったとき会場が一つになりたくさんの笑顔であふれました。

山口様はおじいちゃん子だったそう、吉祥の御利用者様たちとまるで本当の孫のように触れあっていたらつしやる姿が印象的でした。二人とも笑顔の素敵な好青年で、皆様の心に残る出会いとなりました。



山口 晃司

検索

祝 敬老の日



9月15日の敬老の日を前に、高松市の加藤副市長が訪問され、ショートステイをご利用されている板倉ミュキ様の100歳のご長寿をお祝いされました。

「お好きな歌は何ですか。」との問いかけに、板倉様は、炭坑節を皆さんの前で披露されました。板倉様は、まだまだ若いと思っていたので、100歳になられた実感が無いとのことでした。笑顔がとても素敵な板倉様、これからどうぞお元気でお過ごしください。



▲左より、理事長、ご家族(娘様)、板倉ミュキ様、加藤昭彦副市長

水分摂取状況について

新聞やニュースで、熱中症により救急搬送されるという報道が後を絶ちません。高齢者は、口の渇きが感じにくくなるうえ、体内の水分量が減少するためです。水分補給しなくてはなりません。しかしご自分から水分補給を積極的にされる方が少ないのが現状です。そこで当特定施設では、ご利用者様に確実に水分摂取していただくためにはどうすればよいか職員間で意見を出し合いました。

ペットボトルの飲み口をストローにしてみたり、コップに注いでみたり飲み方に工夫をしてみました。また、看護師と相談しながら、お茶だけでなく、様々な味の甘いジュースや、常温の物を冷やしてお召し上がりいただくなどいろいろと試行錯誤を繰り返しております。

2階の食堂にケアステーションが併設されたことで、介護と看護が連携して利用者一人一人に十分な水分摂取ができるようになりました。

このような取り組みの結果、水分補給の大切さを職員が利用者様に説明することで以前より水分量を増やすことができました。まだまだ十分に水分量の確保ができたとは言えませんが、これからは職員が一丸となって努力していきます。また、御家族様におかれましては面会に来られた際にはゆっくりお話しされながら水分補給するお時間を設けていただけると協力よろしくお願いいたします。

(特定介護職員 長塩 仁美)

入浴について

以前はショート、特定施設と単独で入浴業務を行っていましたが業務の効率化を図るため8月から合同で行っています。

職員の人数が増えたことにより、利用者様をお待たせする事もなくスムーズに入浴ができ、爪切りや髭剃りなどの整容も落ち着いて行うことが出来ています。また業務を集中して行うことで午後からリハビリやレクリエーションの時間が確保でき、取り組み事が出来ています。今後ともご利用者様、ご家族様に満足していただけるサービスが提供できるような業務改善を行ってまいります。

(ショートステイ介護職員 岡田 朋子)

